

ロシア系文学理論の文献

リストを徐々によいものにしていきたいと思います。手元にあるもののリストに反映させていない文献もあり、まだ十分なものではありませんが。。。 (更新中です)

- Bakhtin, M. M., & Medvedev, P. N. (1978). *The formal method in literary scholarship: A critical introduction to sociological poetics* (A. J. Wehrle, Trans.). Baltimore/London: The John Hopkins University Press. (Original work published 1928)
- Bann, S., & Bowlt, J. E. (Eds.) (1973). *Russian Formalism*. Edinburgh: Scottish Academic Press.
- Bazerman, C. (2004). Intertextualities: Volosinov, literary theory, and literacy studies. In A. Ball & S. W. Freedman (Eds.), *Bakhtian perspectives on language, literacy, and learning* (pp. 53-65). Cambridge: Cambridge University Press.
- Erlich, V. (1981). *Russian Formalism: History ? doctrine* (3rd ed.). New Haven/London: Yale University Press.
- Galperin, I. R. (1971). Some principal issues of style and stylistics as viewed by Russian Linguists. *Style*, 5, 1-20.
- Howell, D. P. (1992). *The development of Soviet folkloristics*. New York/London: Garland Publishing.
- Lemon, L., & Reis, M. (Eds.). (1965). *Russian formalist criticism: Four essays*. Lincoln: University of Nabraska Press.
- Lucid, D. P. (ed.). (1976). *Poetry and Prose*. Oxford: RPT Publications.
- Lucid, D. P. (Ed.). (1976). *General Semiotics*. Oxford : RPT Publications.
- Matejka, L., & Pomorska, K. (Eds.). (2002). *Readings in Russian Poetics: Formalist and Structuralist views*. Chicago: Dalkey Archive Press.
- O'Tool, L. M., & Shukman, A. (1977). *Formalist theory*. Oxford: Holdan Books.
- Rubenstein, H. (1951). The recent conflict in Soviet linguistics. *Language*, 27 (3), 281-287.
- Scheglov, Yu. K., & Sholkovskii, A. K. (1975). *Generating the literary text* (L. M. O'Toole, Trans.). Oxford : RPT Publications.
- Shukman, A. (1978). The Moscow – Tartu Semiotic School: A bibliography of works and comments in English. *PTL: A Journal of Descriptive Poetics and Theory of Literature*, 3, 593-601.
- Wilson, T. Y. (1971). A note on stylistics in the Soviet Union. *Style*, 5, 21-25.
- Zolkovskil, A. K. (1979). How to show things with words: On the iconic representation of themes by expression plane means. *Poetics*, 8 (4), 405-430.
- 朝妻恵理子 (2009) . 「ロマン・ヤコブソンのコミュニケーション論－言語の「転位」－」. 『スラヴ研究』, 56, 197-213.

- 新谷敬三郎 (1974) . 「ロシア・フォルマリズムの展開」 . 『月刊言語』 , 3 (3) , 200-205.
- 新谷敬三郎・磯谷孝 (編訳) . (1971) . 『ロシア・フォルマリズム論集 詩的言語の分析』 . 現代思想社.
- 石川達夫 (1992) . 「ロシア・フォルマリズムの「異化」概念再検討」 . 『ロシア語ロシア文学研究』 , 24 , 104-105.
- アンドリュース, E. (2005) . 『ロートマンの文化記号論入門 言語・文学・認知』 (谷口伊兵衛 (訳)) . 而立書房. (原著は2003年出版)
- 池上嘉彦 (編) . (1985) . 『意味論・文体論』 . 大修館書店.
- 石田修一 (1975) . 「ロマーノソフの文体論とその評価をめぐって」 . 『ロシア・ソビエト研究』 , 10 , 1-16.
- 石田修一 (1977) . 「ロシアにおける三文体論の系譜」 . 『ロシア・ソビエト研究』 , 11 , 1-10.
- 磯谷孝 (1969) . 「ソヴィエトの文学研究における構造主義の潮流」 . 『東京外国語大学論集』 , 19 , 57-77.
- 磯谷孝 (1970) . 「ウラジミール・プロップと構造主義」 . 『東京外国語大学論集』 , 20 , 11-22.
- 磯谷孝 (1970) . 「ローマン・ヤコブソンの詩学」 . 『ロシア語ロシア文学研究』 , 2 , 46-60.
- 磯谷孝 (1972) . 「詩的言語の意味論的考察—文学における言語の可能性とその限界—」 . 『ロシア語ロシア文学研究』 , 4 , 58-69.
- 磯谷孝 (1972) . 「ロシア形式主義詩学における《手法》の意義について」 . 『東京外国語大学論集』 , 22 , 19-28.
- 磯谷孝 (1973) . 「ヤコブソンの芸術記号論—そのパステルナーク論に寄せて—」 . 『東京外国語大学論集』 , 23 , 23-47.
- 磯谷孝 (1974) . 「ロシア・フォルマリズムの詩学—その詩的言語理論の本質—」 . 『月刊言語』 , 3 (3) , 194-199.
- 磯谷孝 (1974) . 「ロトマンの芸術記号論」 . 『東京外国語大学論集』 , 24 , 35-65.
- 磯谷孝 (1975) . 「意味と無意味」 . 『東京外国語大学論集』 25 , 17-38.
- 磯谷孝 (1976) . 「意味と情報—知られたるものと知られざるものの弁証法—」 . 『東京外国語大学論集』 , 26 , 13-33.
- 磯谷孝 (1977) . 「言語記号論の到達点—古典的記号論から文化の記号論へ—」 . 『思想』 , 640 , 1-23.
- 磯谷孝 (1977) . 「話法論と意味論」 . 『東京外国語大学論集』 , 27 , 101-114.
- 磯谷孝 (1982) . 「現代思想へのソヴィエト文化記号論の寄与—理論モデルとしての言語科学の展開—」 . In 川本茂雄・田島節夫・坂本百大・川野洋・磯谷孝 (編) , 『講座・記号論 1 言語学から記号論へ』 (pp. 38-89) . 勁草書房.
- 磯谷孝 (2004) . 「詩学と文体論」 . 『文体論研究』 , 50 , 1-23.

- 伊東一郎 (1979) . 「イデオロギーとしてのロシア・フォルマリズム」 . 『新日本文学』 ,
34 (6), 71-75.
- 伊東一郎 (1979) . 「以後のフォルマリズム」 . 『早稲田文学. 第 8 次』 , 33, 26-29.
- イワーノフ, B. B. (1977) . 「記号論の役割—人間とその共同体とを研究する上で—」
(北岡誠司 (訳)) . 『思想』 , 640, 24-39. (原著は 1965 年出版)
- 宇波彰 (1971) . 「ロシア・フォルマリズムと批評の問題」 . 『新日本文学』 , 26 (12), 57-63.
- 宇波彰 (1979) . 「バフチーンとフランス」 . 『早稲田文学. 第 8 次』 , 33, 34-37.
- 遠藤知巳 (2002) . 「言語・複数性・境界—バフチンの世界記述をめぐって—」 . 『思想』 ,
940, 116-130.
- 大石雅彦 (1992) . 『ロシア・アヴァンギャルド遊泳 剰余のポエチカのために』 . 水声
社.
- 岡部匠一 (1976) . 「ソヴィエト構造言語学の系譜 I」 . 『人文科学論集』 (信州大学人
文学部) , 10, 57-68.
- オクチュリエ, M. (1996) . 『ロシア・フォルマリズム』 (桑野隆・赤塚若樹 (訳)) .
白水社. (原著は 1994 年出版)
- 貝澤哉 (2006) . 「19 世紀後半から 20 世紀初頭のロシアにおける文学教育と文学の国民化 :
ギムナジアにおける文学教育カリキュラムをめぐって」 . 『スラヴ研究』 , 53, 61-91.
- 柿沼伸明 (2000) . 「ポテブニャーとロシア象徴主義」 . 『ロシア語ロシア文学研究』 ,
32, 72-86.
- ガリペリン, I. R. (1978) . 『詩的言語学入門—言葉の意味と情報性—』 (磯谷孝 (訳)) .
研究社出版. (原著は 1974 年出版)
- ガリペーリン, I. R. (1974) . 「「文体」および「文体論」の概念について」 (木村崇
(訳)) . 『中京大学教養論集』 , 15 (1), 223-246. (原著は 1973 年出版)
- 川端香男里 (1970) . 「ロシア・フォルマリズム再検討」 . 『中央公論』 , 85 (4), 256-265.
- 川端香男里 (1971) . 「ロシア—フォルマリズム」 . 『国文学』 , 16 (10), 54-59.
- 川端香男里 (1980) . 「ロシア文学の言語理論」 . In 千野栄一 (編) , 『言語の芸術』 (pp.119-145) .
大修館書店.
- 川端香男里 (1983) . 「ロシア・アヴァンギャルドの展望」 . 『ユリイカ』 , 15 (1), 46-51.
- 川端香男里・由良君美・新谷敬三郎. (1979) . 「批評の大転回点」 . 『早稲田文学. 第 8
次』 , 33, 4-22.
- 北岡誠司 (1973) . 「二重言語の詩学—フォルマリズム期ヤコブソンの場合—」 . 『ロシ
ヤ語ロシア文学研究』 , 5, 80-94.
- 北岡誠司 (1974) . 「フォルマリズムとフランス構造主義—ブロップとレヴィ=ストロー
スとの<対話>を中心に—」 . 『月刊言語』 , 3 (3), 212-219.
- 北岡誠司 (1980) . 「文化の構造・知の構造—「文化の記号論」に即した場合—」 . 『思
想』 , 667, 78-105.

- 北岡誠司（1981）．「テキスト理論の誕生ーフォルマリズム、形態論、バフチン・グループ」．『思想』，689, 57-76.
- 北岡誠司（1985）．「物語の構造・物語の自由ーナラトロジー序説ー」．『思想』，735, 88-100.
- 北岡誠司（1985）．「バフチンのカッシーラー「剽窃」問題を超えてー文脈変更・曖昧な関係・黙殺ー」．『思想』，735, 88-111.
- 北岡誠司（1986）．「諺の構造・諺の技法ー明示テキストとしての差異と暗示テキストとしての類似ー」．『人間文化研究科年報』（奈良女子大学），2, 1-12.
- キム，J.（2002）．「横光利一の文学形式としての「嘘」--漱石とシクロフスキーの「形式」論と関連して」．『比較文学』，45, 39-53.
- ギュンター，H.（2003）．「総合芸術作品としての全体主義国家」（桑野隆（訳））．『思想』，952, 83-96.（原著は2000年出版）
- ギュンター，H.（2003）．「社会主義リアリズムとユートピア的思考」（桑野隆（訳））．『思想』，952, 97-106.（原著は2000年出版）
- 工藤正広（1979）．「詩人の散文小説ーマヤコフスキーとパステルナーク」．『早稲田文学. 第8次』，33, 30-34.
- 桑野隆（1979）．『ソ連言語理論小史 ボードアン・ド・クルトネからロシア・フォルマリズムへ』．三一書房.
- 桑野隆（1979）．「フォルマリズムを超えてー二〇年代のバフチンー」．『文学』，47 (9), 63-73.
- 桑野隆（1981）．「現代ソ連における映画の記号学」．『映像学』，21, 52-61.
- 桑野隆（1981）．「ロシア・アヴァンギャルドと民衆文化ーメイエルホリドを中心としてー」．『思想』，689, 77-86.
- 桑野隆（1983）．「アヴァンギャルドの記憶ーボガトウイリョフの民衆演劇論」．『ユリイカ』，15 (1), 156-162.
- 桑野隆（1985）．「金芝河とバフチンー広場の詩学」．『新日本文学』，40 (9), 6-14.
- 桑野隆（1985）．「解放の記号学ーバフチンを読む（承前）ー」．『思想』，729, 24-45.
- 桑野隆（1985）．「バフチンを読むー生成の場の記号学ー」．『思想』，727, 1-34.
- 桑野隆（1988）．「フォルマリズム論争再読ーきたるべき詩学のためにー」．In 池田浩士・桑野隆（編），『講座 20世紀の芸術 5 言語の冒険』（pp. 201-240）．岩波書店.
- 桑野隆（1990）．「生きた「言葉」と死せる「言語」：バフチンと「スターリン主義」」．『現代思想』，18 (2), 76-89.
- 桑野隆（1991）．「闘争とパロディーーロシア・フォルマリズム」．『現代詩手帖』，34 (4), 12-18.
- 桑野隆（1992）．「ロシア回帰とバフチン」．『比較文学研究』，61, 84-100.
- 桑野隆（1993）．「ロシア・フォルマリズム」．In 新田義弘・丸山圭三郎・子安宣邦・三

- 島憲一・丸山高司・佐々木力・村田純一・野家啓一（編），『岩波講座現代思想 4 言語論的転回』（pp. 211-237）．岩波書店．
- 桑野隆（1995）．「無対象詩と「言語の復活」ーアヴァンギャルドと非公式文化」．『現代詩手帖』，38 (10)，48-53．
- 桑野隆（1995）．「言葉は世界を救う：ロシア言語哲学史断章」．『現代思想』，23 (4)，209-218．
- 桑野隆（1996）．『夢みる権利 ロシア・アヴァンギャルド再考』．東京大学出版会．
- 桑野隆（1996）．「バフチンと全体主義ーカーニヴァル・スターリニズム・ソボールノスチー」．『思想』，862，144-162．
- 桑野隆（1997）．「ロートマン的記号論とロシア文化」．『ちくま』，313，12-13．
- 桑野隆（1997）．「<アヴァンギャルド・パラダイム>は存在するのか」．『現代思想』，25 (4)，116-124．
- 桑野隆（2000）．「ロートマン的テキスト論の射程」．In 小林康夫・松浦寿輝（編），『テキスト危機の言説』（pp.31-48）．東京大学出版会．
- 桑野隆（2001）．「ロシア・フォルマリズムの<文学性>の外部」．In 山中桂一・石田英敬（編），『シリーズ言語態① 言語態の問い』（pp. 47-67）．東京大学出版会．
- 桑野隆（2002）．「対話的能動性と創造的社会ーバフチン的社会学の今日的意味ー」．『思想』，940，5-24．
- 桑野隆（編）．（2005）．『レーニンの言語』．水声社．
- 桑野隆・大石雅彦（編）．（1988）．『ロシア・アヴァンギャルド 6 フォルマリズム 詩的言語論』．国書刊行会．
- 桑野隆・貝澤哉（1997）．「ロシア・イデオロギー」．『現代思想』，25 (4)，54-79．
- 小林孝夫（1979）．「フォルマリストの文体論」．『北九州大学外国語学部紀要』，37，111-120．
- 近藤昌夫（1995）．「V. シクロフスキイによるチェーホフ初期短編の分析について」．『関西大学文学論集』，44，581-604．
- 佐藤千登勢（1996）．「ヴィクトル・シクロフスキイの芸術理論と実践ー『Zoo（ツォー）』、あるいは愛についてではない書簡、またあるいは第三のエロイーズ』における「動機付け」の考察」．『ロシア文化研究』，3，35-48．
- 佐藤千登勢（1996）．「手法としての「降伏宣言」ーヴィクトル・シクロフスキイの『Zoo（ツォー）』と『第三工場』をめぐってー」．『早稲田大学大学院文学研究科』（第2分冊 英文学・フランス文学・ドイツ文学・ロシア文学・中国文学），42，131-141．
- 佐藤千登勢（1997）．「ヴィクトル・シクロフスキイの『大尉の娘』論についてー形式主義的方法と社会学的方法の融合：1966年の論考を基にー」．『早稲田大学大学院文学研究科 第2分冊 英文学フランス文学ドイツ文学ロシア文学中国文学』，43，117-126．
- 佐藤千登勢（1997）．「初期シクロフスキイの創作方法ー文学的素材としての聖書ー」．

- 『ロシア語ロシア文学研究』, 29, 57-71.
- 佐藤千登勢 (1999) 「形式主義とフォルマリズムー横山利一と中河与一にみるシクロフスキイの摂取ー」. 『比較文学年誌』, 35, 101-121.
- 佐藤千登勢 (2000) . 「ジャンルの革命、そしてふたたび規範への回帰ーロシア・フォルマリズムの散文ジャンルの概念をめぐってー」. 『ロシア文化研究』, 7, 75-86.
- 佐藤千登勢 (2001) . 「シクロフスキイの機械主義」. 『ロシア文化研究』, 8, 37-49.
- 佐藤千登勢 (2003) . 「「異化」としてのメディアーシクロフスキイの映画と散文をめぐってー」. 『ロシア語ロシア文学研究』, 35, 73-80.
- 佐藤千登勢 (2005) . 「シクロフスキイ再考の試みー散文における《複製技術的要素》についてー」. 『スラブ研究』, 119-144.
- ジェフコフスキー, A. K. , &シチェグロフ, J. K. (1979) . 「文学テキストの「テーマ」と「詩的世界」(上)」(北岡誠司(訳)). 『文学』, 47(5), 72-93. (原著は1975年出版)
- ジェフコフスキー, A. K. , &シチェグロフ, J. K. (1979) . 「文学テキストの「テーマ」と「詩的世界」(下)」(北岡誠司(訳)). 『文学』, 47(6), 84-104. (原著は1975年出版)
- シクロフスキー, V. (1971) . 『散文の理論』(水野忠夫(訳)). せりか書房. (原著は1925年出版)
- シクロフスキー, V. (1972) . 『革命のペテルブルグ』(水野忠夫(訳)). 晶文社. (原著は1966年出版)
- シクロフスキー, V. (1985) . 「シクロフスキイにきく 思考派大胆である」(水野忠夫(訳)). 『季刊ソヴェート文学』, 93, 164-170.
- スタイナー, P. (1986) . 『ロシア・フォルマリズム ひとつのメタ詩学』(山中桂一(訳)). 勁草書房. (原著は1984年出版)
- 高橋敏夫 (1979) . 「ロシア・フォルマリズムの死ー山口・大江批判」. 『早稲田文学. 第8次』, 33, 23-26.
- 田中克彦 (1985) . 「言語の革命、意識の革命」. 『ユリイカ』, 17(6), 103-111.
- 千野栄一 (1980) . 『言語学のたのしみ』. 大修館書店.
- 外池力 (2006) . 「社会主義リアリズムについての一考察ーなぜリアリズムが社会主義に好まれたのか?ー」. 『政経論叢』(明治大学政治経済研究所), 74(3-4), 381-407.
- トゥイニャーノフ, Y. (1979) . 「文学的事実ーヴィクトル・シクロフスキイに捧ぐ」(斎藤俊雄(訳)). 『早稲田文学. 第8次』, 33, 38-46.
- トゥイニャーノフ, Y. (1985) . 『詩的言語とはなにかーロシア・フォルマリズムの詩的理論』(水野忠夫・大西祥子(訳)). せりか書房. (原著は1924年出版)
- トドロフ, T. (編) (1971) 『文学の理論ーロシア・フォルマリスト論集ー』(野村英夫(訳)). 理想社. (原著論文は1965年出版)

- トドロフ, T. (1974). 「フォルマリズムと未来派」 (川端香男里 (訳)). 『芸術倶楽部』, 1, 166-170.
- 西村明人 (1987) 「二つの「異化」ーブレヒトとシクロフスキー」. 『京都学園大学論集』, 16 (3), 293-317.
- プロップ, V. (1988). 『魔法昔話の起源』 (斎藤君子 (訳)). せりか書房. (原著は 1946 年出版)
- フロレンスキイ, P. A. (1998). 『遠近法の詩学 芸術・言語論集』 (桑野隆・西中村浩・高橋健一郎 (訳)). 水声社.
- ベネット, T. (1986). 『フォルマリズムとマルクシズム』 (鈴木史朗 (訳)). 未来社. (原著は 1979 年出版)
- ホーゾン, J. M. (1979). 『文学における独自性と関連性』 (鈴木史朗 (訳)). 未来社. (原著は 1973 年出版)
- ボガトウイリョフ, P. (1974). 「演劇の記号学」 (桑野隆 (訳)). 『新劇』, 21 (9), 62-68. (原著は 1938 年出版)
- ボガトウイリョーフ, P. (1988). 『呪術・儀礼・俗信ーロシア・カルパチア地方のフォークローアー』 (千野栄一・松田州二 (訳)). 岩波書店. (原著は 1929 年出版)
- ポドロガ, V. , ヤンポリスキイ, M. , & イワノフ, A. (1997). 「余白の哲学」 (桑野隆 (訳)). 『現代思想』, 25 (4), 176-183. (原著は 1994 年出版)
- 三浦國泰 (1988). 「アヴァンギャルドの解釈学ーロシア・フォルマリズムと脱構築作業ー」. 『成蹊大学文学部紀要』, 24, 18-44.
- 水野忠夫 (1963). 「ソビエト: 「形式主義」批判の復活」. 『新日本文学』, 18 (4), 154-157.
- 水野忠夫 (1967). 「詩人の誕生ーマヤコフスキー・ノートー」. 『ヨーロッパ文学研究』, 13, 33-55.
- 水野忠夫 (1968). 「ロシア・シンボリズムの美学」. 『季刊世界文学』, 8, 13-31.
- 水野忠夫 (1969). 「ロシア・フォルマリズムの復活ーロシア文学ー」. 『文学界』, 23 (4), 192-201.
- 水野忠夫 (1970). 「《非日常化》の概念をめぐって」. 『すばる』, 2, 158-163.
- 水野忠夫 (1971). 「詩的言語とイメージーマヤコフスキー・ノート」. 『海』, 3 (2), 174-235.
- 水野忠夫 (1971). 「詩と革命 (I)ーマヤコフスキー・ノートー」. 『海』, 3 (12), 178-207.
- 水野忠夫 (1971). 「詩と革命 (II)ーマヤコフスキー・ノートー」. 『海』, 3 (13), 216-245.
- 水野忠夫 (1972). 「詩と革命 (III)ーマヤコフスキー・ノートー」. 『海』, 4 (2), 120-143.
- 水野忠夫 (1972). 「詩人の死ーマヤコフスキー・ノートー」. 『海』, 4 (4), 100-135.
- 水野忠夫 (1973). 「『赤い処女地』ーヴォロンスキイ覚書」. 『歴史と人物』, 18, 50-68.
- 水野忠夫 (1975). 「スターリン時代下のソヴェト文学」. 『国文学』, 20 (9), 43-48.
- 水野忠夫 (1979). 「詩と絵画の接点ークルチョーヌイフとマレーヴィッチ」. 『美術手帖』, 458, 130-139.

- 水野忠夫 (1983) . 「「わたしの革命」あるいは表現の冒険—マヤコフスキイとその時代」 .
『ユリイカ』, 15 (1), 60-70.
- 水野忠夫 (編) . (1982) . 『ロシア・フォルマリズム文学論集 1』 . せりか書房.
- 水野忠夫 (編) . (1982) . 『ロシア・フォルマリズム文学論集 2』 . せりか書房.
- ミリマノフ, B. (2001) . 『ロシア・アヴァンギャルドと 20 世紀の美的革命』 (桑野隆
(訳)) . 未来社. (原著は 1995 年出版)
- 山田吉二郎 (1981) . 「ロシア語新旧文体論叢—19 世紀初頭のロシア文壇—」 . 『外国語・
外国文学研究』 (北海道大学) , 29, 65-98.
- 山中桂一 (1989) . 『ヤコブソンの言語科学 1 詩とことば』 . 勁草書房.
- 山中桂一 (1994) . 「構造—ドラゴン・クエストから言語の本質へ」 . In 小林康夫・船曳
建夫 (編) , 『知の技法』 (pp. 102-114) . 東京大学出版会.
『ロシア・アヴァンギャルド』 . 国書刊行会. (全 8 巻)
- レオンチェフ, A. A. (1970) . 『言語の発生とその展開 ソヴェート言語学序説』 (広岡延
夫 (訳)) . 未来社. (原著は何年か不明)
- ロトマン, Yu. M. (1978) . 『文学理論と構造主義—テキストへの記号論的アプローチ
—』 (磯谷孝 (訳)) . 勁草書房.
- ロトマン, Yu. (1979) . 『文学と文化記号論』 (磯谷孝 (訳)) . 岩波書店.
- ロトマン, Yu. M. (1987) . 『映画の記号論』 (桑野隆 (訳)) . 平凡社.